

近畿支部管内における高圧ガス事故発生状況(平成31年(令和元年)～令和5年)

中部近畿産業保安監督部近畿支部 保安課

・事故発生事象別の件数(平成31年(令和元年)～令和5年)

	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
爆発	3	0	1	0	0
火災	5	8	7	7	8
噴出・漏えい	107	88	103	122	109
破裂・破損	0	2	6	1	3
盗難・喪失	7	4	10	6	4
その他	3	0	0	0	3
合計事象数	125	102	127	136	127
(参考) 事故 件数	123	102	119	131	127

※1 令和6年3月時点の集計値であり、今後修正される可能性があります。

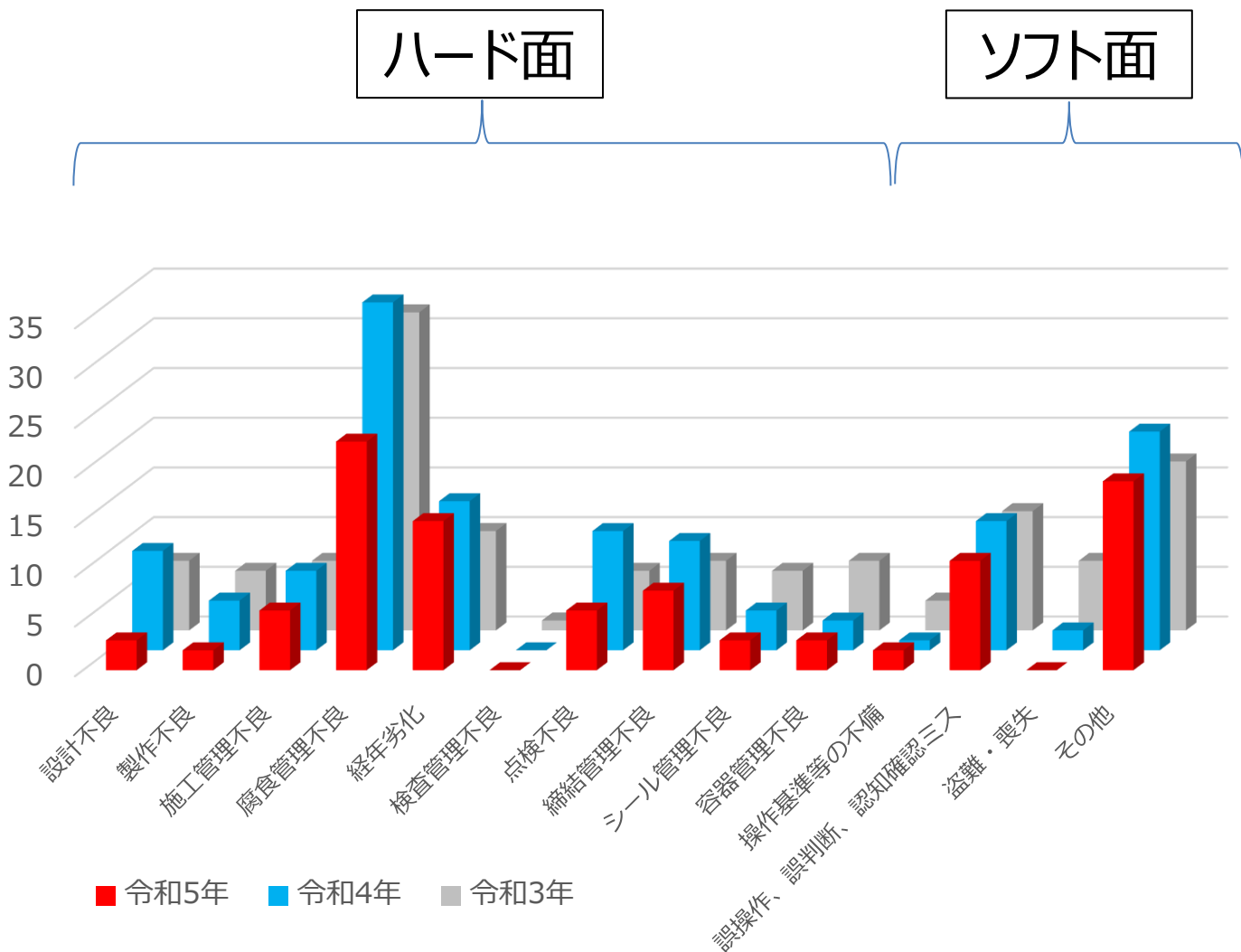
※2 1つの事故で事象が複数の場合があります。

- ・令和5年の近畿管内における高圧ガス事故は127件、令和4年は131件と、大きな変動はなかった。
- ・令和5年においては爆発事故は発生しなかったが、※その他事故が3件発生した。(その他事故は令和2年～令和4年まで0件)

※その他：高圧ガスを充填した容器が危険な状態となったとき。(3件中2件)
窒息事故(3件中1件)

近畿支部管内における高圧ガス事故原因別比較(令和3年～令和5年)

・事故原因別の事故件数(令和3年～令和5年)



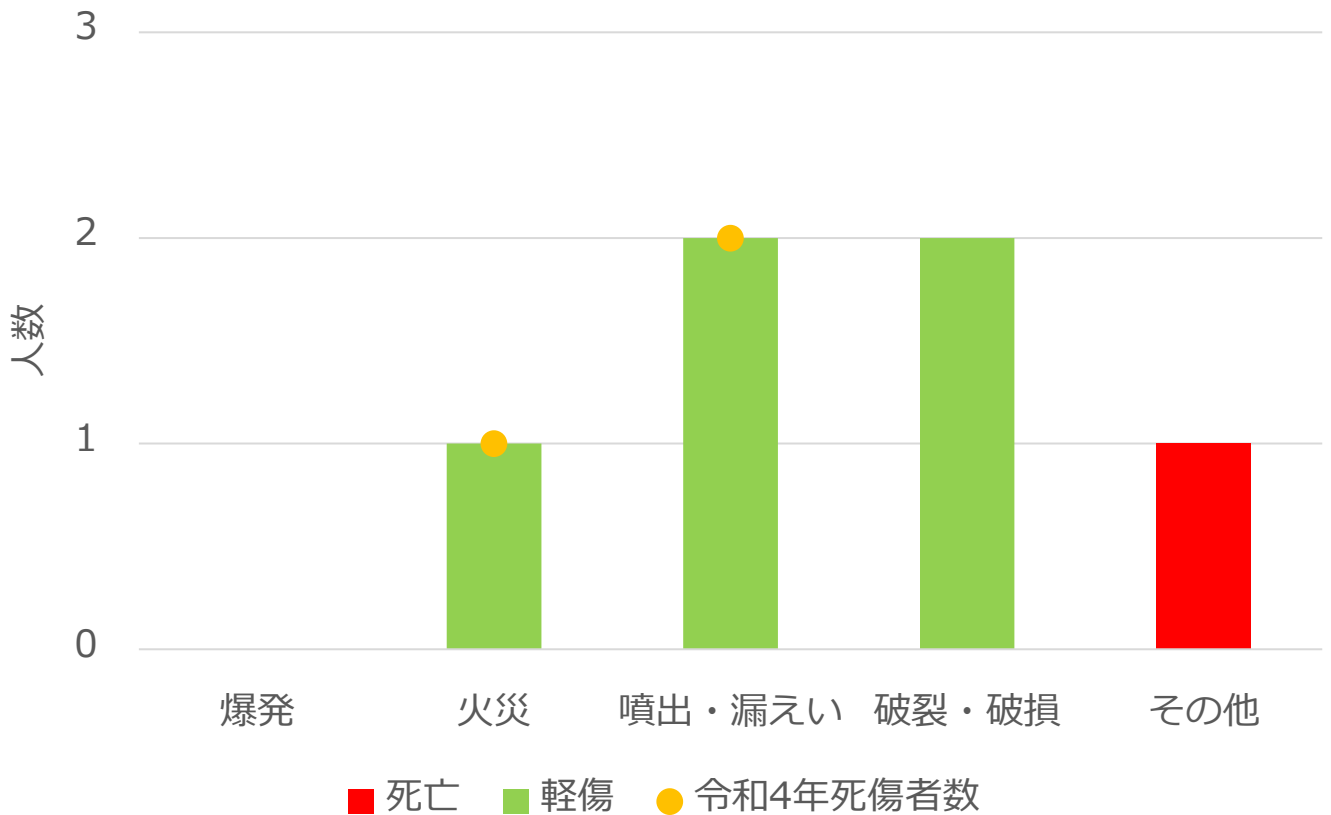
※ 1つの事故で原因が複数の場合があります。

- ・事故原因の内、製作不良、シール管理不良、容器管理不良が原因の事故が年々減少傾向となっている。
- ・設計不良、点検不良にあつては前年と比較し大きく減少した。

原因分析

- ・ 例年、ハード面での問題は腐食管理不良、ソフト面では誤操作・誤判断・認知確認ミスが多い。
- ・ これらは、設備の老朽化、人材不足、保安教育・指導が十分でなかったことが大きく影響していると考えられる。

・事故発生事象別の死傷者数(令和4年～令和5年)



		爆発	火災	噴出・漏えい	破裂・破損	その他
令和5年	死亡					1
	重傷					
	軽傷		1	2	2	
	合計		1	2	2	1
令和4年死傷者数			1	2		

・令和5年では死者を伴う事故が1件発生しており、近畿では7年ぶりの高圧ガスに係る死亡事故となった。その他負傷者を伴う大きな事故はなかったものの、令和4年に比べ死傷者数は3人の増加となった。